

項目	説明	
試料・情報 の利 用目的 及び 利用方 法	研究課題名	小児型プロトコールにて治療後に同種移植を行った AYA 世代 Ph-negative ALL における TBI を含む骨髄破壊的前処置の安全性の検討
	研究目的	現在、思春期・若年(AYA)世代フィラデルフィア染色体陰性急性リンパ性白血病(Ph-ALL)の治療は、微少残存病変が陽性となった場合、全身照射を含む骨髄破壊的前処置を用いた同種造血幹細胞移植を行うことが標準的です。より毒性の高い小児型プロトコールで治療された AYA 世代 Ph-ALL に対して、全身照射を含む骨髄破壊的前処置での同種移植を行った場合、さらに治療関連死亡が増える懸念が生じるが、現在までにその安全性は検討されていません。本研究では、小児型プロトコールで治療後に施行された同種造血幹細胞移植の有効性と安全性を検討し、AYA 世代 Ph-ALL の至適寛解後療法確立を目指します。
	研究対象者	2007 年 1 月から 2016 年 12 月までに当センター血液内科にて Ph-ALL 第一寛解期に骨髄破壊的前処置を使用して同種造血幹細胞移植を行った 16～39 歳の患者さん。
	研究期間	西暦 2021 年 3 月 29 日～西暦 2022 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター	血液内科・医長立花崇孝
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	関東造血幹細胞移植共同研究グループ (KSGCT) 群馬県済生会前橋病院 白血病治療センター 高田 覚 群馬大学医学部附属病院 血液内科 齋藤 貴之 埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 川井 信孝 埼玉医科大学総合医療センター 血液内科 渡部 玲子 自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 神田 善伸 千葉大学医学部附属病院 血液内科 堺田 恵美子 千葉市立青葉病院 血液内科 鐘野 勝洋 成田赤十字病院 血液腫瘍科 青墳 信之 東京大学医科学研究所附属病院 造血細胞移植チーム 高橋 聡 がん・感染症センター 都立駒込病院 血液内科 大橋 一輝

	日本大学医学部附属板橋病院	血液・膠原病内科	八田 善弘
	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科	矢野 真吾
	慶應義塾大学医学部	血液内科	森 毅彦
	東京医科大学病院	血液内科	後藤 守孝
	東京女子医科大学病院	血液内科	田中 淳司
	NTT 東日本関東病院	血液内科	白杵 憲祐
	日本赤十字社医療センター	血液内科	塚田 信弘
	横浜市立大学医学部附属病院	リウマチ・血液・感染症内科	萩原 真紀
	東海大学医学部附属病院	血液内科	鬼塚 真仁
	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科	藤澤 信
	静岡赤十字病院	血液内科	田口 淳
	自治医科大学附属病院	血液科	神田善伸
	獨協医科大学病院	血液・腫瘍内科	三谷絹子